

演題：

PECO の先へ。リサーチクエスチョン定式化の新しいフレームワーク：Target trial emulation

抄録本文：

「ある治療に効果があるか知りたい」。これまで、RCT ではなく観察研究からこのような効果を知るために、我々は PECO を使ってリサーチクエスチョンを定式化してきた。PECO の構成要素は、対象集団 (P, population)、関心ある曝露 (E, exposure) と比較対照 (C, comparison)、効果を測定するための評価項目 (O, outcome) である。近年、PECO よりも精微にリサーチクエスチョンを定式化する Target trial emulation という考え方が広まりつつある。Target trial emulation とは、PECO だけでは整理することができないさまざまなバイアスを軽減するために、①関心あるリサーチクエスチョンを解決するための理想的なランダム化比較試験 (Target trial) を構築し、②集められる、あるいは手元にある観察研究データで、この理想的なランダム化比較試験を真似する (emulation) にはどうするか考えながら、リサーチクエスチョンを定式化するフレームワークである。プライマリーケア、循環器、リウマチ、がん等のさまざまな臨床領域で、Target trial emulation に関する紹介論文が出ている。本プレセミナーでは、因果効果をおさらいした上で、明日から使える Target trial emulation の考え方を解説する。